

報時 ときめき

ときめきらいふクラブ
発行日 2014年5月1日
発行責任者 磯 竹栄
編集 三谷雅昭



二〇一四年度(第一九期)

定期総会無事終了

四月二十六日(土)一五時〜一七時、所沢市新所沢公民館において、二〇一四年度「ときめきらいふクラブ」定期総会は、会員数二十九名、出席者・十九名、委任状出席・八名、欠席者・二名。会員数の過半数の出席があり、成立し開催されました。

司会・三谷事務局長のもと、初めに新入会者の紹介。酒井寛治氏、八木 滋氏の自己紹介あり、次に磯会長の挨拶を行い、議長の選出、規約に基づき、会長が議長を務め、議案の審議に入った。

議事一・二〇一三年度活動実績報告

二・二〇一三年度会計報告

三・二〇一四年度活動基本方針(案)

四・二〇一四年度予算(案)

五・役員改定(案)

六・その他

右記の通り、報告、提案され、会計の仕分け、専門部会などについて意見が出ましたが、原案通り承認されました。活動報告で特筆すべきことは、次の二点が上

げられます。①当クラブのホームページを立ち上げ開設 ②健康生きがいづくりアドバイザー養成講座・資格認定研修会を実施・修了し五名のアドバイザーが誕生しました。

主な活動は、次の通りです。

○アドバイザー養成講座・認定研修会
一〇月、二月

○第一九回中高年いきいき講座 三月

○オープン講座 六月、二月

○出前講座 九月、一月

○施設見学 七月、十一月

○ハイキング 六月、九月

○会報「ときめき」発行 五月、一〇月

会員一同、一人ひとりが主役で地域密着型の活動を目指し実行して行きたい。

(磯 竹栄)



総会開催風景

○第十八回中高年いきいき講座

*日時・平成二十六年三月一日(土)

*場所・所沢市新所沢公民館

*出席者・一三七人

*内容

ときめきらいふクラブ会長磯竹栄、所沢市福祉部高齢者支援課課長池田隆人氏、健康生きがい開発財団常務理事大谷源一氏の挨拶のあと当クラブの紹介、その後講座を開始した。第一部は「手応えある人生とは」とのテーマで渡邊一雄先生による講演、先生は社会人落語家としてもご活躍されており、ユーモアを交えたお話会場は笑いの渦でした。続いてアトラクション。フラダンスと指笛、みんなの歌でした。素敵な衣装とダンサーの踊り、指笛、ソプラノ歌手による天使の声のような歌、会場の皆さん、踊りと指笛と歌声に酔いしれておりました。(三谷雅昭)



フラダンスを踊るダンサー



ソプラノ歌手の独唱

第二回健康生きがいづくりアドバイザー養成講座・資格認定研修会が無事終了

○養成講座、

*日時…十月五日、十二日、二十六日

全三日間(いずれも土曜日)

午前九時三十分～午後五時

*場所…所沢市生涯学習推進センター

*受講者…九名

今回の受講者は、所沢市内、鴻巣、東京都中央区からも来ました。小人数のため、家族的に和やかな雰囲気の中、皆さん各講座を熱心に受講されていました。

第二日目には、文京学院大学准教授中嶋 修先生に「長寿社会をどう生きるか～今やることは～」と題して、特別講演を頂きました。

○第一〇〇回資格認定研修会

*日時…二〇一四年二月十六日(日)、

三月二十三日(日) 全二日間

午前九時三十分～午後五時

*場所…所沢市生涯学習推進センター

*受講者…十名

この研修会は、各地の養成講座や通信講座等の課程を修了した方が受講されます。二月十五日が平地でも、豪雪のため、車や公共交通機関がストップしたために会場に来ることが出来ず、

三月二十三日に変更しました。

遠くは、新潟市、本庄市、東京都からも参加しました。養成講座は、座学中心のもので、資格認定研修会は、如何に地域の中で、実践的な活動ができるか、そのノウハウを学ぶ、グループワークが中心に行われました。研修も最終日になりますと、すっかり溶け込んで、明るく、楽しそうに学んでおりました。全員が予定のカリキュラムを修了して、すでに財団への登録が終わり、認定されました。晴れて、一〇名の健康生きがいづくりアドバイザーが誕生しました。今後の活躍が期待されます。

(磯 竹栄)



養成講座の受講風景



認定研修会グループワークの風景

○ときめき施設見学会

*日時…十一月九日(土)

*場所…草加煎餅丸草一福

同じ敷地内にある博物館

(資料館、民芸館、美術館)

*参加者…十六名(一般七名、会員九名)

*内容

①午前九時四十分所沢駅集合。松原団地駅よりバスで工場へ。

②職員の案内で煎餅の工場、資料館、民芸館見学。煎餅焼き体験では、一人三枚、味の違ったものを焼いて味付けもし、用意されていた袋にいれ持ち帰りました。

③同じ敷地内にある美術館見学。

棟方志功、後藤純男、河合玉堂、平山郁夫など天才たちの絵画と世界的にも希な工芸品の展示を見学。最後にお茶と焼きたての暖かいせんべいを試食。

④売店で本場の美味しいお土産を皆さん手にして、三時ころ帰路につく。新秋津で解散。

(浅原栄子)



草加煎餅工場参加者一同

○所沢市生涯学習まちづくりフォーラム

*日時・三月十六日(日)午前九時三十分

分(午後三時三十分)

*会場・所沢市生涯学習推進センター

*催事・牛乳パックで小物作り

*参加者・一般五十四人、スタッフ九人

*内容

裁断済みの牛乳パックを組み立て、綺麗な和紙を貼って作品を作ります。毎年お馴染みの巾着、ちよつと変わった形のペン立て、パスモ等が入るカード入れの三種類の中から好きなものを作っていました。プレゼントにも手頃なカード入れが人気でした。

昨年より少々少ない参加者でしたが、大人から幼稚園のお子様まで幅広い年齢の方々に参加いただき、指導者としても嬉しく思います。男性の参加者が少ないことが残念ですが、皆様とも和気あいあいとお話しながら作品作りができ、とても楽しく充実した一日でした。

(松原初枝)



牛乳パックで小物作り風景

○合宿懇親会

*日時・十二月八日(日)～九日(月)

*場所・ニューサンピア埼玉おごせ

*参加者・十五名(所沢十一名、横瀬四名)

(名)

十二月八日午後一時三十分、車七台に分乗し現地集合。二時から五時まで施設内体育館にて五チーム(①チーム三名)にて親睦デイスコン大会を開催。

優勝はしチーム(磯、町田、麻田)で午後六時三十分から宴会場にて第三位まで表彰。宴会では、全員参加で四種目のゲームに時間を忘れ大興奮大歓声で、大いに盛り上がりました。

翌日の九日は、地元越生町の観光スポット巡りとして、「黒山三滝」にてマイナスイオンを浴び。「越生町自然休養村センター」では特産品のゆずの加工品や御饅頭で喫茶休憩。地元「ブリュワリー」にてワイン、柚子酒、清酒の試飲、購入。日本料理「山富貴」にて昼食後、「山吹の里歴史公園」を散策。午後二時頃現地解散。

(松本 元伸)



黒山三滝風景

○定例会での勉強会①(十二月二十一日)

*テーマ・市民活動と市民活動センターの機能

*講師・下川原敏弘先生(所沢市市民活動支援センター主任)

市民活動に関する情報の収集・発信、相談業務、交流の促進等が主な業務。

未だPR不足で支援センターの存在が知られていない。会議室コーナー等があるので、団体登録をして施設を大いに利用して欲しいと言っていました。

○定例会での勉強会②(一月十八日)

*テーマ・社会人生活で得たこと・体験したこと

*講師・麻田誠一氏(会員)

テーマは5Sが基本となり改善活動、5ゲン主義、KYT、ヒヤリハットを取り上げて発表したが、これ等は現在の生活でも基本となり、今後も継続推進する所存である。

○定例会での勉強会③(二月二十二日)

*テーマ・成年後見制度

*講師・新津 毅氏

核家族化が進んだ現在、将来自分が何時判断能力欠如の状態になるかわからず、制度を理解する必要性を痛感しています。当クラブでも市民の相談に乗れる様に頑張りたいと思います。

○定例会での勉強会(三月二十二日)

*テーマ・・・高齢者住宅の現状と今後の展望
*講師・・・中川克彦先生

(生活協同組合・さいたま高齢協
朝霞事業所企画開発営業室 室長)

*内容

高齢者世帯の住宅とは、団塊の世代を中心にバブル経済の時期に新築された住宅で、現在も住んでいる住宅のことであり、アネハ事件のあった、マイホームラッシュの時に建築した住宅は近年の新築住宅と比較できないくらい低い耐久性の住宅で、かなり老朽化しているのが高齢者の住む住宅には不向きな住宅「現状の高齢者住宅」であるとの事でした。

そんな高齢者に「健康住宅」を組合員の皆様に安価な新築住宅、フルリフォーム住宅の資金調達も含め提案をしているとのお話でした。
(鈴木真澄)

【新入会員紹介】

○酒井寛治(所沢市北秋津在住)



公務員、会社員として四十五年勤務、福祉組織で約五年ボランティア活動しました。趣味は歴史探訪です。

○北沢正嗣(所沢市下富在住)



東京生まれ長野育ち。三年前、所沢に転居。土地勘も友人もなくシャイな私。「笑涯楽習・年中夢求」が望み。

○藤本洋子(所沢市上山口在住)



年齢は六十三歳、老人保健施設で食卓看護師をしています。最後の自分探しをしたいと思います。よろしくお願いします。

○八木 滋(川口市桜町在住)



趣味はテニス、登山、ツーリングです。体力には自信があり、皆様と楽しい時間を多く持つことを期待しています。

【ディスコンコーナー】

滋賀、奈良、大阪、京都四府県のディスコン協会が、平成二十六年二月十五日に滋賀県草津市で交流大会を開催することになり、参加の誘いを受けました。

会員にその情報を伝えたところ、四チーム(一チーム三名で合計十二名)が参加することに。所沢と川口の二チームは新幹線で、横瀬の二チームは夜行バスでそれぞれ前日に出発しました。

その日は、史上まれに観る記録的大雪に見舞われた日でした。新幹線組は予定どおり参加できましたが、夜行バスの横瀬組は高速道路閉鎖のため途中でバスがストップしてしまい、厚木から電車で新宿に戻りました。ところが、秩父地方は積雪が多くて鉄道も道路も閉鎖されてしまい、三日間も帰宅できず大変な目にあってしまいました。それにもめげず横瀬では、次の大会に向けて毎週練習に励んでいます。

(山田 武)

【編集後記】

昨年十一月六日にホームページを立ち上げ、公開しました。第十八回中高年いきいき講座も大好評で終えました。

来年度はNPOへの参加を目指します。会員の皆様のご支援、ご協力をお願いします。
(三谷雅昭)



第1回ディスコン交流大会(滋賀)